

新型コロナウイルス感染症クラスター（26事例目）について （第6報）

三重県内で発生した26事例目のクラスターについて、1月28日時点の調査状況を報告します。

1 県内26事例目のクラスターの概要

令和3年1月、伊勢市内の介護施設「認知症対応型共同生活介護事業所正邦苑城田」で発生したクラスターで、三重県内では26事例目となります。

同じ施設の入所者等及び施設職員から陽性者が複数判明していることから、この施設内で感染が広がった可能性が考えられます。

2 調査状況

この施設の職員（1508例目）の陽性が1月8日に確認され、その接触者調査を進め、検査を行ってきました。

このクラスターでは、施設の入所者9名（1551例目～1557例目、1620例目、1630例目）、職員8名（1508例目、1558例目、1559例目、1569例目、1593例目、1594例目、1684例目、2109例目）の陽性者が確認されています。

現在の検査状況は下表のとおりです。

カテゴリー	検査対象者	検査済数			未検査
		検査済数	陽性数	陰性数	
施設職員等	33	33	<u>8</u>	<u>25</u>	0
入所者	24	24	9	15	0
合計	57	57	<u>17</u>	<u>40</u>	0

※上記は人数であり、検査を行い陽性となった際は陽性数に計上しています。

【参考】クラスター対象外の接触者調査状況

カテゴリー	検査済数	陽性	陰性
家族	5	1	4

3 今後について

接触者については保健所が調査を進め、随時検査を実施するとともに、健康観察を行っていきます。

県のクラスター対策グループを派遣し、調査等の支援を行っていきます。

※報道機関の皆様へ

本患者様およびその他ご関係者様の人権の尊重および個人情報保護、勤務先等の風評被害防止について、ご理解とご配慮をお願いいたします。